

【2004年7月から2008年7月の間、MR涙道造影検査を施行された患者さんへのお知らせ】
課題名 〈涙道閉塞に対するMR涙道造影検査(MR dacryocystography)の有用性に関する検討〉

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2004年7月から2008年7月の間、当院でMR涙道造影検査を施行された方につきまして、涙道閉塞症例の閉塞部位の同定におけるMR涙道造影検査の有用性を検討するための後方視的調査研究を実施いたします。

涙道閉塞症例において、MR涙道造影検査で観察される閉塞部位と内視鏡で観察された閉塞部位を比較検討して、非侵襲的な検査法であるMR涙道造影が涙道閉塞症の診断法として確立されることを目的としております。

調査実施期間は倫理委員会承認日から2年間の予定です。

1. 治療介入を伴わない「疫学研究」で、既存資料のみを用いた研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。なお研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。
2. 研究に関してご質問のある方や、研究参加を希望されない方は、下記までご一報くださいますようお願ひいたします。

問い合わせ先：放射線医学（画像診断1）准教授 玉田 勉
電子メール：ttamada@med.kawasaki-m.ac.jp
TEL：086-462-1111（内線44201）
FAX：086-464-1123